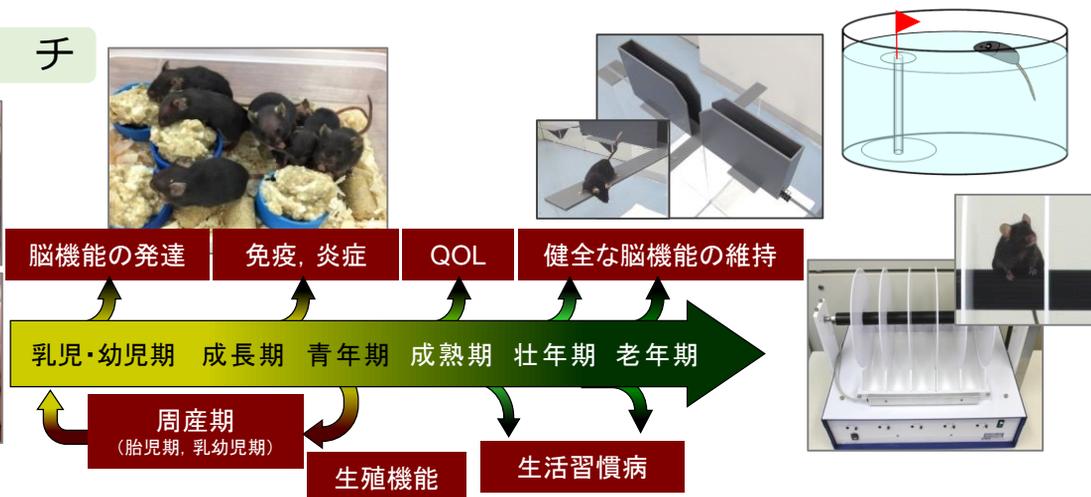


守口 徹 (食品栄養学), 山本 純平 (食品栄養学), 原馬 明子 (機能性脂質学)

研究の背景

私たちの身体は約37兆個の細胞でできています。材料となるのは全て口から体内に入れた食品です。その中でも、エネルギー産生栄養素(三大栄養素)の一つである「脂質」は、肥満などのメタボリックシンドロームの予防から敬遠されがちです。しかし、1つ1つの細胞の膜は「脂質」でできています。身体を構成し、組織の機能性を維持させるため、「脂質」はとても重要です。では、いつ、どのような種類の「脂質」を、どれくらい摂取すればよいのでしょうか？ 私たちはマウスを用いて、身体に必要な脂質である**必須脂肪酸**の役割について研究しています。

アプローチ



- ・新生児、乳幼児期に必要な脂質栄養を知るために、世界的にも希少な人工哺育法で授乳し、新生仔を育てます。
- ・成長後は、種々の生活習慣病モデルを利用して、行動への影響や身体の状態を測定します。

期待される結果

- ・胎児期や新生児期に与えられた栄養が、成長後にどのような影響を及ぼすか確認できます。
- ・長期間に摂取した栄養が身体にもたらす影響を検証し、私たちの食生活に役立てます。
- ・マウス、ラットの基本的な扱いや測定、解析の技術が習得できます。

ヒトでは検証することが難しい「脳機能」や、調査しにくい新生児、乳幼児期の「成長・発育」、時間のかかる老齢期への影響などを観察し、行動学、生化学的に評価していきます。

募集方法

募集人数：2名程度

選考方法：下記アドレスに応募の連絡ください。個人面談の日程を調整します。

連絡先：守口 徹 moriguchi@azabu-u.ac.jp

※ 動物たちにお休みはありません。彼らは命に代えて、新しい情報を我々に提供してくれます。観察力と責任感を持ってコツコツ研究に取り組む意欲が必要です。